



2026（令和8）年度 藤沢市立片瀬中学校グランドデザイン
学校教育目標

認め合う 高め合う 助け合う力 の育成

1. 人権や多様性を尊重しお互いに認め合う生徒の育成（認め合い）
2. 知識を相互に関連付けてより深く理解し自分の考えをもつ生徒の育成（高め合い）
3. 他者と協働して課題解決に取り組む生徒の育成（助け合い）

【目指す学校像】

生徒も 保護者も 地域も 教職員も
みんなの挨拶・笑顔・真顔・感動あふれる片瀬中学校

【目指す生徒像】

1. 人権を尊重し他者に共感ができる生徒
（多様性と包摂）
2. 知識を知恵に変え自分の考えをもち課題解決ができる生徒
3. 多様な他者との対話を大切にしたい協働ができる生徒

【具体的な手立て】

学びの仕掛けづくり

好きを育み得意を伸ばす

1. ICTを活用した授業
2. 対話を大切にしたい深い学び
3. 体験学習の充実
4. 指導と評価の一体化
5. 多様な生徒の居場所、学びの場の設定
6. 地域との協働による学び

学びの環境づくり

協働的な学びの基盤

1. 心理的安全性の確保
（自分の意見を発表できる、ありのままの自分を認め表現できる、共感し合える場づくり、いじめを許さない）
2. 多様性を認め合える関係性の構築
3. 地域資源の活用

魅力ある組織づくり

すべての人のウェルビーイング

1. チーム片瀬としての取組
（ひとりにしない、させない）
2. 個々の個性や強みの相互理解と活用
（生徒・教員の挑戦、「やりたい」を応援）
3. 生徒が主体、生徒自治による学校づくりの推進

【生徒を育む土台となる環境】

保護者との連携

パートナーシップと合意形成

1. 保護者も「チーム片瀬の一員」を意識した協働
2. 対話を大切にしたい目指す方向性の共有・共感

目指す教員の姿勢

学び続けるプロ教員像

1. 常に誠意をもち生徒・保護者・地域に信頼される教員
2. 生徒に寄り添い支援できる教員（共感力・想像力）
3. 向上心を持ち常に授業改善に取り組む教員

地域との協働

社会に開かれた教育課程

1. 保護者・地域との協働を大切にする学校
2. コミュニティ・スクールとして保護者・地域に応援してもらえる学校